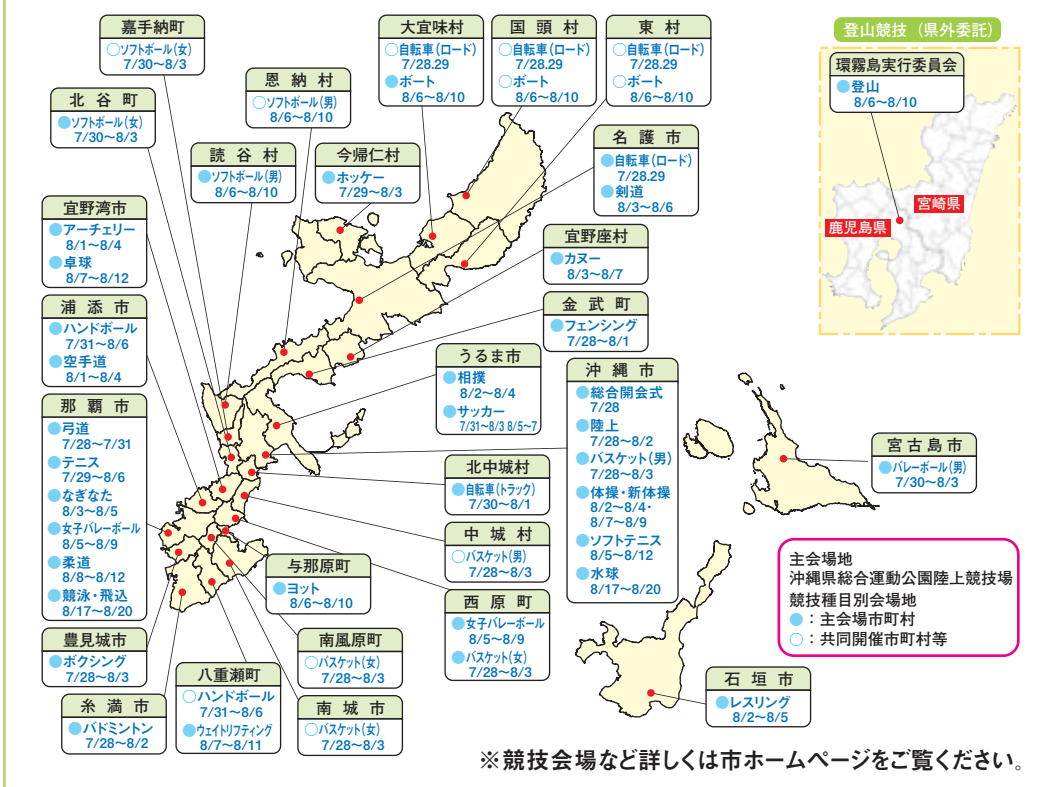


平成22年度 全国高等学校 総合体育大会 競技種目別会場 配置図



※競技会場など詳しくは市ホームページをご覧ください。



柔道



テニス



女子バレーボール



青天居る風がなびる闘志が夏に輝く 美ら島沖縄総体2010

今回は、「美ら島沖縄総体2010」開催に向けて県内高校生が取り組む「高校生入役活動」や、市内で開催される6競技7種目の見所を紹介いたします。

インターハイの呼称で親しまれている全国高等学校総合体育大会は、スポーツを愛する全国の高校生にとっては憧れの舞台。また、大会は開催する県の高校生が中心となって運営に携わることが大きな特徴です。インターハイは、まさに高校生による高校生のための大会です。

本大会は、7月28日(水)の総合開会式(沖縄県総合運動公園陸上競技場)を皮切りに、8月20日(金)までの間、29競技が県内各地(※登山競技は、鹿児島県及び宮崎県で開催)で齊に行われます。市では、水泳競技(競泳・飛込)、女子バレーボール競技、柔道競技、弓道競技、テニス競技、なぎなた競技の6競技7種目の競技大会が開催されます。

期間中、全国から選抜されて参加する選手、監督は約3万4千人。役員、県外からの観客を含めると約14万人の方が沖縄県を訪れる見込みです。その規模から国内最大のスポーツの祭典と言われています。

このスポーツの祭典の出場を目指し、沖縄県でも5月末から6月中旬にかけて各競技の県大会(予選)が行われ、各会場では熱戦が繰り広げられます。

市では、「美ら島沖縄総体2010」を開催するにあたり、市民の協力を得ながら、主役である高校生の熱意と創意を結集し、心のこもった大会運営に努めていきます。

みんなの力で「美ら島沖縄総体2010」を成功させましょう！

那覇市で開催される 競技大会の日程

総合開会式		●種目別開会式後競技				★競技		■競技終了後閉会式		□閉会式											
競技種目名		7月				8月															
		28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	17	18	19	20
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	火	水	木	金
弓道(男・女)		県立武道館 アリーナ棟		◎○	●	●	■														
テニス (男・女)		奥武山庭球場 湊湖公園 市民庭球場 那覇市新都心 公園庭球場			○	●	●	●	●	●	●	■									
なぎなた(女子)		県立武道館 アリーナ棟							★	●	■										
バレーボール (女子)		那覇市民体育館 真和志高校 西原町民体育館 西原高校									○	●	●	●	■						
柔道(男・女)		県立武道館 アリーナ棟												★	●	●	●	■			
水	競泳 (男・女)	奥武山 水泳プール																★	●	●	■
泳	飛込 (男・女)	奥武山 水泳プール																★	●	●	■

●競技の説明

弓道競技は60メートル先の的をねらう遠的競技と、28メートル先の的をねらう近的競技があります。高校総体は近的競技のみを行います。競技は、団体男女、個人男女があり、参加人数は約720人です。

昨年の総体では、男子団体が、2年生チームで5位入賞、今年の全国選抜大会では、3位入賞を果たすなど力をつけています。今大会も、活躍が期待できます。

弓道は人格形成と射品の向上を目指し自らを鍛え平常心で臨む武道です。的に狙いを定めピンと張り詰めた緊張感は、見ている人を圧倒します。



弓道



なぎなた



南の島から島ぞうり

なぎなたは、日本の古い武器である薙刀(なぎなた)及び竹刀に似たなぎなたを使った現代武道で、明治末から大正にかけて女子の武道として発展してきました。

競技は演技競技と試合競技(個人・団体)が行われ、女子のみ約600人の選手が参加します。地元沖縄のレベルは全国的にも高く、昨年の「近畿まほろば総体」では、演技競技で優勝し、今大会も優勝が期待される競技のひとつです。大会初日は、団体試合予選リーグ、2日目は演技、個人試合リーグ、3日目は個人・団体の決勝戦を行います。



シンボルマークが彫られた島ぞうり

私達、高校生は次のような取り組みを行い、大会を盛り上げていきます！

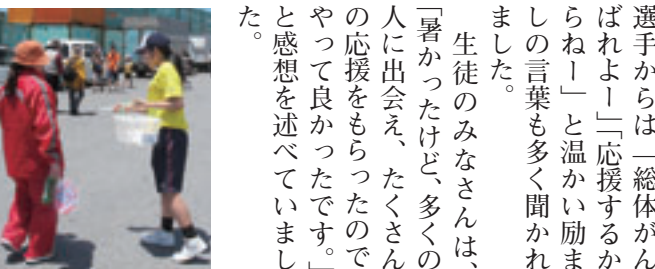
那覇市総合ポスター 及びプログラム表紙 図案コンテスト

「美ら島沖縄総体2010」を前に、市内告知用ポスター、市内で開催する6競技のプログラムの表紙を募る「那覇市総合ポスター及びプログラム表紙図案コンテスト」が行われ、2月2日(火)と3日(水)2階で入賞者の表彰式が行われました。

今回のコンテストは、101点の作品応募があり、37作品が入選。会場には全入選作品が展示され、訪れた方に披露されました。総合ポスター部門の最優秀賞は総体の市内告知用ポスターとして市内各地に貼りだし、各部門(市内で開催される各競技)の最優秀賞作品は、プログラムの表紙に使用するなど市民のみならずへのPR活動などに役立てていきます。

総合ポスター部門で最優秀賞を受賞した首里高校2年生の島袋佑梨子(しまぶくろ ゆりこ)さんは、「自分のイラスト(ポスター)で、全国から勝ちあがってきた出場者を迎えることができて嬉し。だから市内各地にポスターが貼られるので、少し恥ずかしい」と照れながら感想を話してくれました。

みんなの力で成功させよう！



●那覇地区委員長の大会へかける想い

去年の夏に開催された「近畿まほろば総体」を視察し、いろいろ大会について学びました。なかでも会場付近で行われていた案内係や、地域のハンドブックの提供などはとてもいい取り組みだと思いました。

推進委員会のみんなと協力しながら、前大会のいいところを参考にしつつ、かついいやり方は「ちよーでー」の沖縄らしさを出していけるような大会にしたいです。県内、県外を問わず会場に訪れたみなさんが交流を深め、思いに残る大会を目指します！

「美ら島沖縄総体2010」高校生入役活動推進委員会 那覇地区委員長 真子みずき(那覇商業3年)

みんなにきつねー！

大会参加校は56校で、大会開催県は、2校出場することができま。

競技初日の8月6日(金)は、1組4チームの13組の予選グループ戦から始まります。

第1〜3シードの強豪3校と沖縄県大会優勝校合わせて4校は、決勝トーナメントからの参加になります。

強烈なスパイクで点数を稼いでいくことの多い男子バレーボールとは違い、一生懸命ボールを拾ってスパイクにつなげるなど手に汗にぎるプレーの連続が目が離せないのが女子バレーボール競技の魅力の一つです。

美ら島沖縄総体の競技大会では陸上競技について2番目に大きな規模を持つ大会です。

競泳と飛込の競技方法は、成績順位で高い得点が見られる学校対抗で行われます。

競泳は、自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、メドレー、リレーの泳法と50メートルから1500メートルまでの距離で、男女31競技種目があります。

飛込競技は、3m飛込、高飛込の2つの競技種目があります。水面に達し入水するわずかな時間に、繰り広げられる、難易度の高い技が見せ場となっています。



水泳(競泳 飛込)

